



行政評価局政策評価課  
客観性担保評価推進室専門官  
大辻 江利奈 OTSUJI ERINA

平成17年 4月 総務省(中部管区行政評価局)採用  
平成18年 4月 中部管区行政評価局第一部評価監視官付  
平成19年 4月 行政評価局総務課業務情報化推進室  
併任 行政評価局総務課地方業務室  
平成20年 4月 行政評価局総務課(総務係)  
平成21年 4月 行政評価局年金記録確認中央第三者委員会  
事務局調査員  
平成23年 4月 行政評価局政策評価官付  
平成24年 7月 会計検査院第4局文部科学検査第1課調査官  
平成26年 4月 大臣官房会計課厚生企画管理室宿舎係長  
平成27年 8月 行政評価局総務課(総務係)評価監視調査官  
行政評価局評価監視調査官(財務、経済産業等担当)  
平成30年 4月 内閣官房内閣総務官室  
(内閣第3担当主査 兼 官報担当主査)  
併任 内閣府大臣官房総務課官報係長  
令和 2年 4月 行政評価局評価監視調査官  
(法務、外務、経済産業等担当)  
令和 2年12月 行政評価局政策評価課  
客観性担保評価推進室専門職  
令和 4年 4月 行政評価局政策評価課  
客観性担保評価推進室専門官  
併任 行政評価局政策評価課  
客観性担保評価推進室

## 「霞が関を、社会をよくする」に貢献

### 諦めない・めげない

主に経理、総務などの業務を担当しました。種々ある規則や運用を学びつつ、実態と照らしておかしいと感じた際は、それらを変えられないか、挑戦もしました。といっても、実際には、上司と一緒に考えてもらい、相手方とこじれば交渉してもらい、うまくまとめられていく過程を学ぶという感じでした。思いが空回りしてご迷惑をおかけしたことも多々ありましたが、諦めない・めげないという姿勢はこのとき培われたと感じます。

### 出向、行政運営の改善に関する調査

会計検査院や内閣官房への出向を通じ、多様な業務を経験するとともに、外部から評価局を客観的に見ることの面白さ・大切さも学びました。霞が関の人脈も広がりました。また、行政運営の改善に関する調査の設計から取りまとめまで通貫で取り組みました。課題解決に少しでも貢献でき、かつ、現場の実態に合った現実的な方策は何か、議論を重ねる。正解もなく悩みながらの道のりでしたが、刺激的かつ有意義な毎日でした。

### 社会の変化に柔軟に対応できる行政を目指して

今は、国の政策評価制度(各府省が、自らの政策の見直し・改善に役立てるため、政策効果を把握・分析する制度)を所管する立場にいます。デジタル化や新型コロナなど社会の変化や前例のない課題に柔軟に対応できる行政を目指し、証拠に基づく政策立案(EBPM(Evidence-Based Policy Making))や政策の効果検証を重視した評価が行われるよう、制度の見直しをしています。先行きが不透明な状況だからこそ、政策評価の役割は大きく、やりがいを感じています。

### 受験者へのメッセージ

社会は急速に変化しており、私たち行政もそのスピードに対応して変わっていく必要があります。新しい行政の在り方を模索することは簡単でなく、試行錯誤がつきものですが、とてもワクワクすることです。霞が関全体が変革まっただ中にあり、そのなかでも行政評価局は、自らも変わり、また各府省の変革を支援しようとする機運にあふれています。ぜひ、興味を持っていただければ幸いです。



行政評価局上席評価監視調査官  
(財務、文部科学等担当)  
栂場 薫 HASABA KAORU

平成21年 4月 総務省(中部管区行政評価局)採用  
平成22年 4月 行政評価局評価監視官付(国土交通担当)  
平成23年 4月 行政評価局総務課(審査係)  
平成25年 4月 行政評価局評価監視官付  
(農林水産、環境、防衛担当)  
平成27年 1月 行政評価局行政相談課  
平成29年 4月 内閣府本府地方分権改革推進室主査  
平成30年 4月 庶務担当主査(政策統括官付統計企画管理官付)  
令和 2年 4月 統計審査担当主査(政策統括官付統計審査官付)  
令和 3年 4月 大臣官房秘書課主査(職員係)  
令和 4年 4月 行政評価局評価監視調査官(財務、文部科学等担当)  
令和 4年 8月 併任 行政評価局政策評価課  
客観性担保評価推進室

## 「今できること」の積み重ね

### 見方が変われば…何が見える？

主に、行政運営上の課題をテーマとして、各府省の業務の実施状況を第三者的に調査し、改善を促す行政評価という業務に従事していました。調査では、何が課題となっているのか、どう改善したらいいのかを的確に捉えるため、各府省だけでなく自治体や民間企業など様々な関係者から現場の声を聞きます。それぞれ見方が変われば意見も変わってくるので、その違いを意識する重要性を特に学んだように思います。

### 少し広がったフィールド

係長になってからは、他府省など、これまでとは異なる部署での業務を経験しました。他府省や自治体の職員と地方分権に取り組んだり、統計改革の流れの中で統計調査の考え方を学んだり…、業務経験の幅が広がったことはもちろん、この頃に限らずですが、その時々での人との出会いも財産だと思います。通常業務から離れて、急遽発生した案件の対応をすることもありましたが、そのたび、本当に多くの人達に助けられました。

### 目的に向かってやってみる

今また、行政評価の業務に従事しております。政府全体でEBPMの推進が叫ばれている中、係員時代に力不足で実践できなかった調査のやり方に挑戦するチャンスに恵まれました。自分達の仕事にも絶対的な正解はありませんし、試行錯誤を重ねていくしかありませんが、少しでも行政運営の改善に、ひいては皆の安心につながるような仕事ができればと思います。

### 受験者へのメッセージ

現在、自分が何をやりたいのか、何ができるのか、悩みながら就活に取り組んでいる方もいらっしゃると思います。行政評価の対象は多岐にわたるため、自分の得意分野や関心のある分野につながることや、また別の分野へ関心を持つきっかけとなることも多く、働いている中でも、色々やりたいことが出てくるのではないのでしょうか。悩んでいる中での選択肢の1つとして、総務省も面白そうと思っていただけたら嬉しいです。



統計局統計情報利用推進課課長補佐  
 併任 大臣官房政策立案支援室室長補佐  
 併任 統計局統計データ活用センター  
 センター長補佐

**和田 宏之** WADA HIROYUKI

平成14年 4月 総務省採用  
 統計センター人口製表部人口製表第一課  
 上席統計製表官付  
 平成15年 4月 統計局統計調査部調査企画課情報企画第一係  
 平成16年 1月 統計局統計調査部調査企画課首席統計情報官付  
 平成18年 4月 人事・恩給局総務課人材情報システム係  
 平成20年 4月 人事・恩給局恩給企画課経理室予算第二係  
 平成21年 4月 人事・恩給局恩給企画課経理室主査  
 平成22年 4月 内閣官房内閣広報室  
 平成24年 7月 大臣官房秘書課人事専門職  
 平成26年 4月 統計局総務課人事係長  
 平成29年 4月 統計局統計調査部国勢統計課  
 労働力人口統計室企画指導第一係長  
 併任 就業動向指標第二係長  
 平成31年 4月 統計局統計調査部国勢統計課  
 労働力人口統計室統計専門官  
 併任 企画指導第一係長  
 令和 2年 3月 統計局統計調査部国勢統計課  
 労働力人口統計室課長補佐  
 令和 3年 4月 現職

## 統計で国を支える

### 統計150年、変革の時代

大隈重信は、「太政官統計院」創設についての建議において、「現在の国勢を詳明せざれば、政府すなわち施政の便を失う。過去施政の結果を鑑照せざれば、政府その政策の利弊を知るに由なし。」と、政策の実施には統計によって国の有り様を正確に把握することが不可欠であると述べた。統計の普遍的な重要性を示すエピソードです。ICTの進化した現代社会において統計は、データサイエンスとして発展し、社会の様々な場面で活用が期待されています。私は現在、統計局の広報業務の一環として、データサイエンス・オンライン講座の企画・提供を行っています。データサイエンスはこれからの時代に必須のツールです。その普及を行い、データサイエンス力の高い人材育成に資するとともに、統計局で実施している統計調査の意義と重要性を広く知ってもらうことで、より良い統計の提供、ひいてはより良い社会のために貢献していきたいと思えます。

### 昨日より今日、今日よりも明日

統計は、国民の皆様の協力と、調査員、地方公共団体等の多くの関係者の尽力によって作成されています。こうして作成された統計は利活用されて初めて意味のあるものとなります。そのためには、精度の高い統計を提供すること、社会のニーズを把握して利用価値の高い統計を提供すること、利活用しやすい環境を整えること等、様々な取組も必要となります。どの業務にも言えることですが、常に社会とのつながりを意識し、業務全体のあるべき姿を見据え、新しいことにどんどんチャレンジしていくことが大事だと思います。昨日より今日、今日よりも明日、少しでも良い統計を提供したいと努力し続ける人と私は一緒に働きたいと思えます。

### Private Time

まとまった時間があるときは、登山に行きます。とても遠くに見えるピークに自分の足でたどり着いた時の達成感、山頂から広がる雄大な景色を目にした時の解放感は言葉では表すことができません。また、最近は控え目にしていますが、友人と美味しいお酒を酌み交わすこともたまの幸せです。



**Q** 今までに一番印象に残った仕事はなんですか？

**A** 労働力調査の企画・実施に携わったことです。調査事項の変更やオンライン調査の導入、新型コロナウイルス感染症への対応等、前例のない事態への対応が求められる中で、自分一人ではとても達成できないようなことを、上司や同僚等と協力し合い、乗り越えられたことは、非常に大きな経験です。また、ジュネーブでILOの国際会議に参加したことも、視野を広げる貴重な機会になりました。

**Q** 仕事をする上で心がけていることはなんですか？

**A** 現場に足を運ぶこと、自分の頭で考えること、人の意見に耳を傾けることを心がけています。また、達成すべきゴールは何か。そのために何をすれば良いのか。それを考えれば、自ずと自身がやらなければならないことが明らかになると思います。その上で、ゴールに向かって一步一步着実に進むことを心がけています。



統計局統計調査部経済統計課  
 経済センサス室基礎調査企画係

**齋藤 尚志** SAITO NAOSHI

平成28年 4月 総務省採用  
 統計局統計調査部国勢統計課企画係  
 令和 2年12月 統計局統計調査部経済統計課  
 経済センサス室基礎調査企画係  
 併任 統計局統計調査部経済統計課  
 経済センサス室基礎調査指導係  
 併任 統計局事業所情報管理課  
 情報解析第一係  
 併任 統計局事業所情報管理課  
 情報解析第二係

## 多くの人と作り上げる統計

### あのお店も？全事業所を一斉調査

皆さんは、お気に入りのお店はありますか。私の携わる「経済センサス-基礎調査」では、そのお店を含む、日本全国のすべての事業所を調査し、その基本的構造を明らかにすることを目的としています。コロナ渦といった社会情勢もあり、データに基づく判断がより重要となってきたなかで、より確実・効率的に調査を実施して統計を作成できるよう、調査方法の検討や関係者との調整など、調査準備を日々行っています。

### 多くの人と達成感を共有

統計調査は、我々職員だけでなく、地方公共団体や統計調査員の方々、事務を受託する民間事業者など、多くの人に関わって行う事業です。前の部署で携わった「令和2年国勢調査」では、様々な難題を皆で考え、協力し合うことで調査を終えることができ、その喜びを分かち合ったことを今でも強く覚えています。多くの人と、大きな事業を一丸となって達成できる、そんな魅力が統計局にはあります。是非、総務省を目指してみてください。



統計局統計調査部消費統計課  
 物価統計室物価指数第二係

**川田 佳** KAWADA KEI

令和 2年 4月 総務省採用  
 統計局統計調査部経済統計課経済センサス室  
 基礎調査審査発表係  
 併任 統計局事業所情報管理課  
 令和 2年 7月 併任 統計局事業所情報管理課レジスター統計係  
 令和 4年 4月 現職

## “社会の今を反映する” “正確な”統計

### 経済の体温計を作る

私は現在、「消費者物価指数」の作成に携わっています。「消費者物価指数」は、消費者が購入する商品(財やサービス)について、物価の変化を総合的かつ客観的に表すもので、日本経済の動きを反映した統計です。経済政策を的確に推進する上で極めて重要な指標でもあり、エネルギー価格や食料品の価格高騰が相次ぐ中、注目度が高く、常に緊張感を持って業務に取り組んでいます。

### 人として成長できる場所

毎月公表している結果が実際の生活にどれほど影響を及ぼしているのか実感できる日々を過ごしています。統計を社会に公表する身として、「社会の今を反映する」「正確な」統計の作成に尽力しています。そして業務に取り組む一方で、どんな悩みでも相談できる同期や尊敬する上司・先輩職員の方にたくさん出会えました。総務省はスキルアップができると共に、人としても成長できる機会が多い職場だと思っています。